

学校訪問

—教育実習生 番場朝香（理工学部）さんを受け入れて頂いた埼玉県立ふじみ野高校を訪問—



埼玉県立ふじみ野高校 第3代校長 品川秀人（本学体育学部体育学



科卒業 第24期生 サッカー部）先生にお話を伺った。第一声は、「後輩のために、何かできることはないか」という楓教育会創立34年間、脈々つながる原点の言葉でした。さらに、



「国士館大学の卒業生は、品がありますよね。誇りに思います。その原点は、大学のサッカー部での学び、大澤英雄理事長先生のご指導をいただき、今があります」と述べられています。

品川秀人校長は、埼玉県高等学校体育連盟副会長（西部地区高体連会長）として、埼玉県立ふじみ野高校の魅力あるカリキュラム「スポーツサイエンス科（全国で2校しかない）」を指導されています。今後は、国士館大学体育学部との高大連携が期待されます。未来のスポーツ・レクリエーションリーダー育成を図るとともに自分の夢実現「いざチャレンジ」の資質・能力の育成を図るなど魅力満載の高等学校づくりを推進されています。まさに、全国・埼玉県のジュニアスポーツのリーダーとして大きな功績を残され、「誠意・勤労・見識・気魄」を体現されている校長先生に出会えました。



それでは、埼玉県立ふじみ野高校を紹介しましょう。平成25年4月に「ふじみ野高校」として開校し今年で8年目を迎えた全日制の男女共学校で、普通科と県内唯一のスポーツサイエンス科が併設されています。3つのチャ



レンジ「自分の可能性にチャレンジ、夢に向かってチャレンジ、感動にチャレンジ」を掲げ、あいさつが校内に響き合い、明るく元気な学校です。まさに、「予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力の育成に向け、『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実させる（令和3年1月26日、中教審）」という先駆的に新しい教育課程の実現に挑戦している魅力溢れる高等学校です。



「学習とスポーツ・文化活動を両立し、地域に元気と感動・夢を発信できる学校」